白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和5年7月号







守る会ホームページ http://shirakawa-go.com/~ogimachi/

「空家対策」と「共同車庫整備」に向けた提言書

現在、荻町区と守る会では、世界遺産保存財団や教育委員会等と連携し、空家対策、及び共同車庫の整備に向けた議論を重ねています。一方、村議会世界遺産保存対策特別委員会では3月に集落視察を実施し、荻町の課題を共有。以下のとおり提言がありました。このことについては、今後共同車庫の整備に対する住民ニーズを把握するためにアンケートを実施予定です(9月寄合にて配布)。ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和5年3月31日

白川村教育長 宮丸和之 様

一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団理事長 板谷孝明 様

伝統的建造物群審議会会長 新谷良彰 様

白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長 野谷信二 様

白川村議会世界遺産保存対策特別委員会 委員長 森崎敏克

提 言 書

白川村議会基本条例第2条及び第13条の規定により、下記2項目について提言する。なお、この提言について令和5年5月31日までに回答を願うものとする。

記

1. 伝建保存地区における危険空き家(家屋・倉庫)の除去について

集落景観を損ねている危険空き家の除去に係る助成制度の見直しや、経済的な事情により自己負担に限界がある場合など、その具現化に向けた検討を白川郷合掌造り集落整備 事業助成検討委員会で進められたい。

→白川村荻町重要伝統的建造物群保存地区内における集落景観を損ねている危険空き家に関する対策について、(一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団の景観障害物除去 事業等の活用などを含め、白川郷合掌造り集落整備事業助成検討委員会において、具 体的な検討を進める[回答書より抜粋]。

2. 共同車庫の整備に向けた検討について

老朽化したセンガ岩倉庫の代替えを目的とした共同車庫の整備について、空地等を活用 した候補地の選定や、住民ニーズの把握等、整備に向けた検討を進められたい。

→白川村荻町重要伝統的建造物群保存地区内における共同車庫の整備について、建物取り壊し後の空地や現状景観を阻害している未使用状態の建物が建つ敷地等を共同車庫 建設候補地として選定し、住民ニーズの把握に努めながら共同車庫整備に向けた検討 を進める[回答書より抜粋]。

【提言書が出された背景、目的、基本的な方向性】

世界遺産白川郷合掌造り集落における空き家の状況は、合掌家屋の空き家をはじめ、 一般家屋の空き家や、危険空き家(家屋・倉庫)が点在する。

本村の世界遺産は、集落空間全体が資産となっており、その集落景観の価値についても評価されていることから、一般家屋(保存建築物以外の建築物)も大切な要素となっている。また、かつての課題であった景観的な建て詰まりの進行は、近年の人口減少等によって歯抜けの空き地の進行へと変容している。

「白川村第2次総合戦略-いつまでも住み続けたい村づくりマスタープランー(2020年~2024年度)に掲げる基本目標「(ひと)多様な価値観の尊重-移住定住支援の本格化-」の具体的施策④「村内の空き家を把握し発掘する」は、こうした課題背景に対して解決の糸口を見出すためのものと位置づけられている。

一方、白川郷荻町集落の自然環境を守る会では、昭和46年に"売らない、貸さない、壊さない"の三原則を掲げる「白川郷荻町集落の自然環境を守る住民憲章」を制定し、保全活動に努めてきたが、人口減少による空き家問題や継承者問題に対し、この三原則のうち"貸さない"の緩和の必要性について荻町区大寄合で決議されている。

現在は、この緩和に向けたルールの明文化に向けて、荻町構想計画会議(荻町区長・副区長、白川郷荻町集落の自然環境を守る会役員、世界遺産保存財団、教育委員会、同志社女子大准教授)が重ねられており、合掌家屋の空き家や一般家屋の空き家の橋渡しを担っている。

しかしながら、集落景観を損ねている危険空き家(家屋・倉庫)や空き地に対しては、 これまで所有者の責任に委ねられ続けてきた経緯から、未だ課題解決の糸口は見出せて おらず、今後は行政や世界遺産保存財団による何らかの対策を講じる必要がある。

◆茅場の草刈りを実施しました

6月16日(金)守る会で造成した茅場(展望台下)の草刈りを実施しました。茅場北側に元々生息する、荻町の地区名の由来にもなっている「荻」の繁殖力が強いため、この荻を使ったオダレや特産品の開発など、茅刈りイベントと併せた企画を実施するのも面白いのではないか、と役員の話題にもなりました。茅場を整備しながらも、在来の植物を大切にし、荻町らしい集落風景を守っていけるといいなと思いました。[企画部]



守る会活動スローガン ~守る・暮らす・つなぐ~

①守る:住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全

②暮らす:結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上

③つなぐ: 故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

6月の活動報告 ※8月の定例会は7日(月)を予定(公民館和室にて)

5日 現地確認 (三役・教育委) 20日 かややね会議 (事務局・財団・教育委・有志)

6日 荻町構想計画会議(役員・財団・教育委) 20日 旧寺口家消防設備点検(福田)

9日 定例会・伝建制度と景観基準勉強会 23日 白川郷自然共生フォーラム(会長)

12日 ねそ6月号発行(総務部) 28日 三村交流会打ち合わせ(会長・事務局)

16日 茅場草刈り(役員有志) 随時 旧寺口家草刈り(福田)

7月の協議事項(現状変更申請に関わって) 7月10日開催

* * * * * · · · 東側2階木製手摺、北側窓取付

* * * * * * · · · 舗装修繕

白川村総務課…***宅前防火水槽撤去工事